

二十歳、旅立ちの日

平成19年度成人式

平成19年度成人式は1月13日、一関市総合体育館で行われ、新成人たちが大人としての自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。



- 1 華やかな振り袖に身を包み式典に臨む新成人
- 2 2階席からわが子の晴れ姿をカメラやビデオに収め、祝福の拍手を送る家族ら
- 3 「久しぶり」「元気だった?」と再会を喜び合っ
- 4 懐かしい顔ぶれが集まれば記念写真。とびきりの笑顔がはじけます
- 5 出身中学校ごとに記念撮影。こちらはすました表情で
- 6 市民合唱団と新成人有志合同で市民歌を合唱

成人の自覚と決意を胸に

今年の新成人は男性732人、女性738人の計1470人。式にはそのうち1168人が出席し、会場は振り袖や紋付きはかま、スーツをまとった新成人の華やかな雰囲気にも包まれました。時折小雪が舞う寒い日でしたが、会場内は大勢の若者たちの熱気に満ちていました。式典に先立ち、一関市民合唱団と新成人有志ら約30人が、昨年制定された一関市民歌を合唱。国歌斉唱の後、東山地域出身の小野寺希美さんの発声により、全員が市民憲章を唱和しました。浅井市長は「皆さんは、二十一世紀の日本、そして故郷一関の未来を担う貴重な人材。自らの価値をしっかりと認識し、堂々たる人生を歩んでいくと、ください」と式辞。佐々木市議会議長らの祝辞の後、室根地域出身の稲田達也さんに北村教育委員長から記念品が贈られました。川崎地域出身の今野

将昭さんが新成人を代表してあいさつ。今野さんは自らの社会人生活で学んだあ、いさつの大切さを述べ、「困難や挫折など、さまざまな壁に立ち向かい、初心を忘れず素直な気持ちで人に接し、何事も乗り越えられる人間でありたい」と決意を述べました。会場の2階には大勢の家族らが詰め掛け、晴れ着をまとった新成人の様子をカメラやビデオに収めながら、祝福の拍手を送っていました。式典後は、出身中学校ごとに記念撮影が行われました。久しぶりに会った友人たちと会話を弾ませたり、みんなで記念写真を撮る新成人の姿があちこちで見られ、会場内は笑顔であふれていました。



小野寺希美さんが市民憲章を先導しました



新成人を代表してあいさつする今野将昭さん



阿部由紀さん(一関)

仙台の歯科医院で働いています。仕事に責任を持ち、信頼されるよう頑張りたいです。一関市民合唱団で、全国大会を目指して今年も歌います。



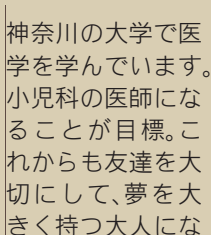
加藤順平さん(大東)

神奈川で働いています。自分の行動に責任を持つように心がけたいです。お金をためて、イタリアやエジプトへ遺跡巡りに行ってみたいです。



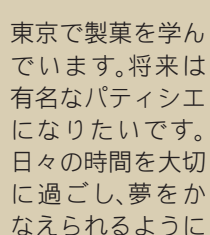
畠山あずささん(千厩)

市内の看護学校に通っています。夢は岩手で看護師になること。間もなく病院で実習が始まりますが常に明るく患者さんに接したいです。



千葉浩介さん(東山)

神奈川の大学で医学を学んでいます。小児科の医師になることが目標。これから友達を大切にして、夢を大きく持つ大人になりたいですね。



須崎真範さん(川崎)

東京で製菓を学んでいます。将来は有名なパティシエになりたいです。日々の時間を大切に過ごし、夢をかなえられるように頑張りたいです。



阿部杏美さん(花泉)

実家の菓子店で働いています。大人の仲間入りができうれしいです。和菓子作りは難しいですが、伝統の味を受け継いでいきたいです。



岡昇太さん(一関)

一関高专で学んでいます。この春就職し親元を離れます。エンジニアのエキスパートを目指し、社会に貢献できる人間になれるよう頑張ります。



吉田多美衣さん(室根)

市内の看護学校で学んでいます。今日は懐かしい友達と会えてうれしいです。将来は、笑顔を絶やさない優しく立派な看護師になりたいです。